

# しもつま 1

Shimotsuma City Public Relations, Ibaraki Japan

2018 JAN  
No.741

広報しもつま

1月号

2018年  
毎月10日発行  
No. 741



じっと見つめる 熱い視線  
ぶんと唸る プロのスイング

12月9・10日 北海道日本ハムファイターズ  
「スポーツ・コミュニティin下妻市」(Waiwaiドーム)

発行/下妻市長公室秘書課  
〒304-8501 茨城県下妻市本城町二丁目22番地  
☎0296-43-2111(代) Fax0296-43-4214(代)

URL <http://www.city.shimotsuma.lg.jp/>  
E-mail [info@city.shimotsuma.lg.jp](mailto:info@city.shimotsuma.lg.jp)  
印刷/富岡印刷所



第6回

# ひなに魅せられて

～ひな人形の世界～

平成30年

2月3日(土) - 3月4日(日)



写真は一昨年の展示風景です

❖博物館のひなまつり❖

3月3日(土) PM1:30～

♡コンサート

歌唱・バイオリン・ピアノ演奏

♡市内幼稚園児の発表

♡呈茶サービス

\*なくなり次第終了

♡当日のみ入館料無料

開館時間 午前9時～午後4時30分

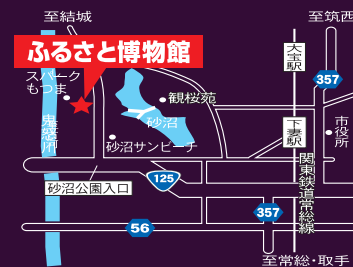
休館日 2月5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)

入館料 一般200円(160円) 児童生徒100円(80円)

( )内は15人以上の団体料金

\*未就学児・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方は無料

下妻市ふるさと博物館 下妻市長塚77番地(ピアspark手前) 0296-44-7111





# 年頭のあいさつ



下妻市長  
稲葉 本治

あけましておめでとうございます。皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

近年、急速に少子高齢化が進展する中、地方自治体は、市民の住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持していくことが、人口減少に歯止めをかけることが強く求められております。本市では、「まち」と「ひと」を元気にするため、今年もさまざまな施策を展開してまいります。

## 足腰の強い財政とするため

行政が施策を効果的に実施するためには、住民のニーズを的確に反映した計画が不可欠であります。しかし、いかに優れた計画であっても、財政の裏付けなくして実現はありません。このことから、本市では、財政

の健全化を最重要課題とし、効率的な市政運営に努めてまいりました。その結果、現在では、財政力を示す指標で改善が見られております。また、公共施設等を経営資源としてとらえ、長期的・総合的な視点でコストやサービスなどの最適化を図るため、平成27年度から「公共施設等マネジメント」に着手しております。

一方、自主財源を確保し、持続可能で足腰の強い財政を確立するため、積極的に企業誘致に取り組みしてまいりました。おかげをもちまして多くの優良企業に進出していただき、その効果が税収にも現れつつあります。既存の工業団地が完売の状況にあるため、新たに、鯨地区に工業団地を造成中であり、昨年2月に圏央道の茨城県内区間が全線開通し、首都圏から本市を含む茨城県南西地域へのアクセスが向上したことを追い風として、引き続き企業誘致に努力し、さらに活力あるまちを目指してまいります。

## 「地域資源」の活用

本市には、大勢の人々が集う複数の大型商業施設のほか、砂沼、大宝八幡宮、小貝川ふれあい公園、道の駅しもつま、ビアスパークしもつま、筑波

サーキットなど多くの観光スポットがあります。さらに昨年は、市街地活性化の拠点として、屋根付き多目的広場「Waivaiドームしもつま」と観光交流センター「さん歩の駅サン・ウツさぬま」がオープンをいたしました。この2つの施設は、これまで十数万の交流人口をまちなかに呼び込み、本市のにぎわいを創出してまいります。今後は、これら施設の活用に加えて、本市の自然、歴史、文化、産業等の「地域資源」を観光の振興や地域の活性化などに生かし、更なる交流人口の増加や移住の促進を図り、いつもにぎわいのあるまちを目指してまいります。

## 将来の下妻を見据えて

平成27年9月関東・東北豪雨により、本市の鬼怒川下流域は、大きな被害を受けました。その後、国、県および鬼怒川沿川の7市町が主体となつて「鬼怒川緊急対策プロジェクト」を実施し、堤防整備、河道掘削などのハード対策と共に、タイムラインの整備とこれに基づく訓練をはじめとするソフト対策も進行中であり、ます。また、今後、鬼怒川の管理用通路等をサイクリングロードとして整備することも予定されていることか

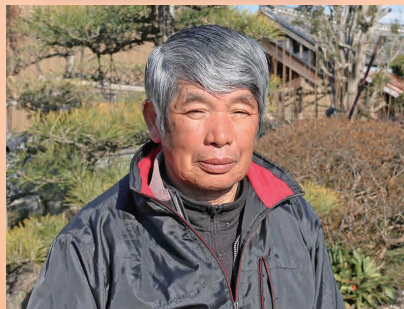
ら、将来的には、他の沿川自治体と連携し、「ツールド・キヌガワ」といった構想も具体化してまいりたいと考えております。

現在、本市は、平成30年度からの10年間を見据えた「第6次下妻市総合計画」の策定を進めております。平成18年1月の合併以来、貫した市の基本理念と将来像を掲げ、ま

ちづくりを進めてきた本市であり、ますが、次の総合計画は、この基本理念を継承しながらも、社会情勢の変化や政策・制度の変更などを踏まえ、新しい時代に対応したものにしたいと考えております。さらに、国が推進する「地方創生」との整合性を図りながら、少子高齢化という大きな壁に挑み、「住むことが誇りに思

えるまち下妻」の実現に向け、全力を傾注してまいりますので、皆さまには、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。結びに、本年が皆さまにとりまして、飛躍の年となりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

## 新春インタビュー



下妻市果樹組合連合会  
会長  
栗野 陽一さん

下妻市果樹組合連合会会長。自らも約2.5ヘクタールの梨畑で息子さんと「幸水」「豊水」「あきづき」「新高」を生産し、農業者後継者が希望の持てる環境整備を進めています。

今月号では、平成29年11月に茨城県表彰を受賞し、ベトナムへの梨の出荷量100トン達成した市果樹組合連合会の栗野会長に、平成29年の振り返りと新年の抱負について語っていただきました。

## ■平成29年を振り返って

天候に恵まれ梨が大きく育ちました。特に「幸水」は、生産者の努力と7月後半に雨が多かったことで大玉に育ち、県内でも一番の大玉になりました。

組合全体の梨の生育が良かったので生産量も多くなり、売り上げも良かったです。これには、ベトナムへの輸出を開始したこともあってと思います。

ベトナムへの輸出については、市や関係機関の協力がなくては実現が難しかったと思います。輸出申請手続きなどを他の生産地より先行して進められたことから、輸出と販売を優位に進めることができました。

輸出に合わせて、私もベトナムへ行き、販売や市場調査などをしてきました。ベトナムの印象は、若い人が多く、これからの経済成長が期待できる国で、梨の市場として大きな期待が持てるというものでした。流通業者などの「何としても、下妻の梨を売る」という気持ちが伝わり、「現地の方に喜んでほしい。そのためにいいものを作らなくてはならない」という思いが強くなりました。

ベトナムでの梨の販売価格は、国内より1割高く組合員の所得向上にもつながることから、組合の課題である後継者や産地の確保の解決に期待が持てることと手応えを感じました。平成29年を振り返ると、下妻の梨を広くPRして、組合員に元気がついた1年でした。

## ■今年の抱負

昨年の実績により、ベトナムを新たな市場として魅力を感じた園地未登録の生産者から、組合には輸出の意欲が多く寄せられています。まず、市や関係機関の協力を得ながら園地登録数を増やすことを始めたいと思います。そして、ベトナムへの出荷量を増やしたいと考えています。

今年のベトナムへの輸出は、国内他産地との競争が厳しくなると予想されます。特に福島県産の梨との競争が厳しくなりそうですが、全国に先駆け販売した実績によって定着させた下妻の梨の魅力と品質で勝負したいと思います。そのために、現地で喜んでもらえるいいものを組合全体で作りたいと思います。その準備として、今の季節に梨づくりの基礎となる「土づくり」と「剪定」をしっかりとやっているところです。

梨づくりは機械化が難しく、私が始めたころと今でも作業がほとんど変わっていないのが現状です。しかし、今までの取り組みによって、良い売上げが見込めるようになり、梨の生産を始めたいという人も増えてきています。生産者の収入確保がカギとなるので、品質の良い梨を安定して出荷していく責任があります。

ベトナム以外にも、タイやシンガポールなどの市場への期待も大きいことから、喜ばれるおいしい梨を生産して、生産者が梨の栽培を続けて良かったといえる環境をつくっていきたく思います。



教育の充実・人権尊重 問 指導課 ☎44-0746 FAX43-9608

## 教育の振興に努め、人権尊重の精神を育む社会へ

健全な青少年育成や教育力の向上を図る「第35回下妻市教育振興大会」と人権尊重の社会を目指した「下妻市人権教育講演会」が12月3日、市民文化会館で同日開催され、教育関係者や市民など約500人が参加しました。

### ■第35回下妻市教育振興大会

教育振興大会では、横瀬教育長から青少年の健全育成を柱とする大会宣言がなされた後、市の教育振興に尽力された27人と教育論文の入賞者18人、いじめ防止標語コンクールの最優秀賞2人が表彰されました。同標語コンクールは、市内の児童生徒がいじめ防止に向けて標語を作成することを通し、いじめの問題について考えていくことを目的として開催されています。



受賞おめでとうございます

### ◇いじめ防止標語コンクール(最優秀賞)

いじめないで みんなだれかの たいせつな人  
高道祖小学校3年 杉山 莉音 さん  
「助けてよ」 心のメールに 応えよう  
東部中学校2年 大塚 誠也 さん

### ■下妻市人権教育講演会

人権教育講演会では、シンガーソングライターの佐々木祐滋さんが「未来に伝えたいメッセージ」と題して講演を行いました。

広島「原爆の子の像」のモデルである佐々木禎子さんの甥にあたる佐々木さんは、12歳という若さで白血病が原因で亡くなった禎子さんの物語を通して、命の尊さや人を思いやる心、戦争の恐ろしさを訴えました。講演では、禎子さんの思いをつづった楽曲「INORI」など3曲を披露し、参加者の心に語りかけました。

参加者からは、「感動的な歌で、胸に響きました。命の尊さや平和の大切さをあらためて感じたので、周りの人にも伝えていきたい」と話が聞けました。



メッセージを歌で伝える佐々木さん

消防・防災 問 消防交通課 ☎43-2119 FAX43-4214

## 下妻市消防団第2分団第1部に消防ポンプ自動車が増備

市役所本庁舎前で11月24日、下妻市消防団第2分団第1部に消防ポンプ自動車が納車され、引き渡しを行いました。納車式で第2分団の山本分団長は「第2分団第1部に新しい消防ポンプ車を納車していただきありがとうございます。今後は第2分団団員一同、市民の安全、安心を確保するため尽力してまいります」と力強く語りました。



配備された最新機能の消防ポンプ自動車



地域の安心安全を誓う第2分団第1部の団員たち

有料広告欄

広報連携 問 秘書課 ☎43-2112 FAX43-1960

## 茨城県が発行する県政情報紙「ひばり」の表紙を飾ろう！写真募集

5月5日「こどもの日」にちなんで、「ひばり」平成30年5月号の表紙を飾る子ども(小学生以下)の写真を募集します。選考された写真の紙面への掲載のほか、抽選で20点を「ひばり」5月号の表紙に当てはめ、茨城県のホームページに掲載します。「ひばり」の表紙を下妻のポピーで飾りましょう。皆さまの応募をお待ちしています。

### 《テーマ》

A・Bいずれかのテーマの写真を、デジタルデータで応募してください。  
A「国営ひたち海浜公園(ひたちなか市)のネモフィラ」と「子ども(小学生以下)」  
B「小貝川ふれあい公園(下妻市)のポピー」と「子ども(小学生以下)」

### 《応募方法》

①撮影者氏名、②郵便番号、③住所、④電話番号、⑤撮影年月日、⑥写真にまつわるエピソードを記載の上、写真のデジタルデータを「いばらき電子申請・届出サービス」から応募してください。

### 《応募締切》

平成30年1月31日(水)

### 《写真のデジタルデータについて》

200万画素以上または3MB以上(システムの関係上、1回の応募で総容量20MBまで)  
ファイル形式:JPEG  
平成29年4月~5月ごろに撮影したもの

### 《注意事項》

- ・応募者本人が撮影し、応募者本人に著作権のある写真のうち、未発表でほかのコンテストなどへの応募をしていないもの(1人2点以内)
- ・被写体の保護者の承諾が得られているもの
- ・画像処理したものは不可
- ・編集上、写真のトリミングを行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ご応募いただいた写真データは返却しません。
- ・採用写真の著作権は、茨城県に帰属します。
- ・肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害などに関するトラブルについて、茨城県は一切の責任を負いません。
- ・収集した個人情報は、本募集に関する連絡、問い合わせ、選考にのみ使用し、本人の同意なく他の目的に使用することは一切ありません。
- ・「ひばり」は、紙面配布のほか、ホームページやSNSなど、電子媒体でも広く配信します。

### 《問合せ先》

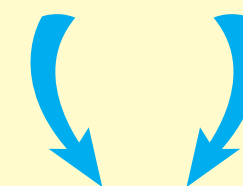
茨城県広報広聴課 ☎029-301-2128 FAX029-301-2168

### あなたの写真で表紙を飾ろう



Aのイメージ

Bのイメージ



県政情報紙「ひばり」表紙

地域振興 問 企画課 ☎43-2113 FAX43-1960

## 「つくばナンバー」図柄入りナンバープレートのデザイン決定 平成30年10月にも交付開始

図柄入り自動車ナンバープレート「つくばナンバー」のデザインが決定しました。筑波山をイメージした3案から、つくばナンバー対象地域の住民による投票の結果、筑波山頂から太陽が昇る「ダイヤモンド筑波」を鮮やかなグラデーションで表現した図案(=写真)が選ばれました。国土交通省から平成30年7月ごろに導入が決定されれば、同年10月ごろに交付開始となる見込みです。

対象地域は、古河市、結城市、下妻市、常総市、つくば市、守谷市、筑西市、坂東市、桜川市、つくばみらい市、八千代町、五霞町、境町の13市町。11月15日まで住民アンケートを実施したところ、投票総数5,930票のうち、この図案が最多の3,161票(53.3%)を得票しています。

交付には、交付手数料のほかに寄付金をいただくと、フルカラーのプレートを取り付けられ、交付手数料のみ



決定した「つくばナンバー」図柄入りナンバープレート

の場合は白黒の図柄になります。寄付金の金額は現時点では未定。寄付金は対象自治体の収益として、観光案内の充実や道路整備などに活用されます。



源泉徴収票の見方とは?

知っているようで知らない 税のあれこれ

☎ 税務課 ☎ 43-8192 FAX 44-9411

毎年11月から12月にかけて職場で年末調整し、その結果皆さんのお手元に届く源泉徴収票。でも実際は、何をみたらいいのか・・・?

今回は、源泉徴収票の見方のお話です。あなたの年収・所得・所得税は? 会社など皆さんが働く職場では、毎年その年の所得税を確定させるために年末調整を行い、その結果が源泉徴収票となって返ってきます。人によっては払い過ぎた所得税が返ってくることもあります。この源泉徴収票はどこをどう見ていいのか、知っているようで知らないことのお話です。

ちょっと難しい説明は抜きにして、「私の今年の年収は? 所得は? 所得税はいくらなの?」といったところを、源泉徴収票のどこをどう見れば分かるのか解説します。



源泉徴収票

あなたの「年収」は源泉徴収票のココを見る!

①支払金額【年収】

記載してある金額は、手取りではなく額面です。社会保険料や源泉所得税、住民税などが差し引かれる前の金額です。

あなたの「所得」は源泉徴収票のココを見る!

②給与所得控除後の金額【所得】

支払金額から給与所得控除(※)の額を差し引いて求めます。※給与所得控除とは、サラリーマンの必要経費です

「年間の所得税」はココを見る!

「結局私は1年間にいくら所得税を支払っているの?」という疑問が生まれると思いますが、源泉徴収税額が、1年間に支払った所得税です。

④源泉徴収額=(②所得-③所得控除額)×税率

所得税の税率は、分離課税に対するものなどを除くと、5%から45%の7段階(平成19年分から平成26年分までは5%から40%の6段階)に区分されています。

いかがですか?ご自分の源泉徴収票を見て、実際の金額を確認してみませんか?

◎さらに詳しい説明は「市ホームページ」の「市税ガイドブック」および国税庁ホームページでご確認ください。

次回の「教えて!しもんちゃん」は、「申告って必要?」をお話したいと思います。

温かい善意ありがとうございます

いばらきコープ生活協同組合から「オープンレンジと食器類」寄贈



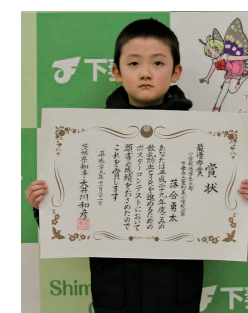
吉澤理事(左)、鶴長理事長(中)から稲葉市長に寄贈されました

12月6日、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、施設利用者に役立てたいと願いオープン機能付き電子レンジ1台と食器類1式が、いばらきコープ生活協同組合から「わいわいハウス」に寄贈されました。

受賞おめでとうございます

「平成29年度ごみの散乱防止と3Rを進めるためのポスターコンテスト(小学校低学年の部)」で最優秀賞受賞

茨城県が主催する「平成29年度ごみの散乱防止と3Rを進めるためのポスターコンテスト」ポスターの部で、豊加美小学校2年の落合勇太さんが総応募数404作品(小学校低学年の部164作品)の中、「最優秀賞」を受賞しました。



投げ捨てられた空き缶を見て、ポスターを描いたという落合さん。「ごみの投げ捨てはしません」とごみの散乱防止に対する心掛けを話してくれました。

賞状を手にする落合さん

受章者紹介



瑞宝双光章 (高齢者叙勲)

青木 明治さん

元真壁町立桜川中学校長

(88歳・下妻乙)

昭和25年8月に上妻村上妻中学校の教諭として赴任されて以来、本市および八千代町の中学校に勤務。昭和57年9月から石下町立石下西中学校教頭を経て、昭和62年4月から真壁町立桜川中学校長に就任し、平成2年3月の退職まで39年7か月間の教職を務められました。「この度の受章は、皆さまの長年にわたる心温かいご支援ご指導の賜物と深く感謝申し上げます」。

受賞者紹介

秋季善行表彰 茨城県交通安全功労者表彰



市長に受賞の報告をする大塚さん夫婦 (左から大塚佐智子さん、稲葉市長、大塚清さん)

平成9年4月から20年間の長きにわたり、毎日、宗道小学校の登校および下校時間帯に小学校前の横断歩道の両端に夫婦で立ち、児童の安全を見守り続けています。その間、事故の発生はなく、児童も積極的に挨拶するようになり、児童の安全・健全育成に多大な貢献をしていることが認められ受賞となりました。

有料広告欄

有料広告欄



ごみ組成調査の結果から見てきたもの

# ごみの分別・リサイクルにご協力を

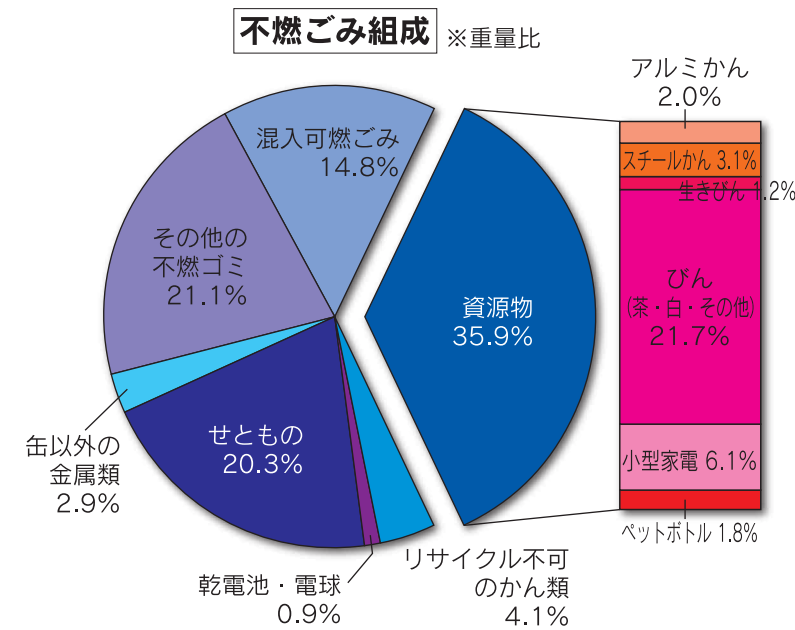
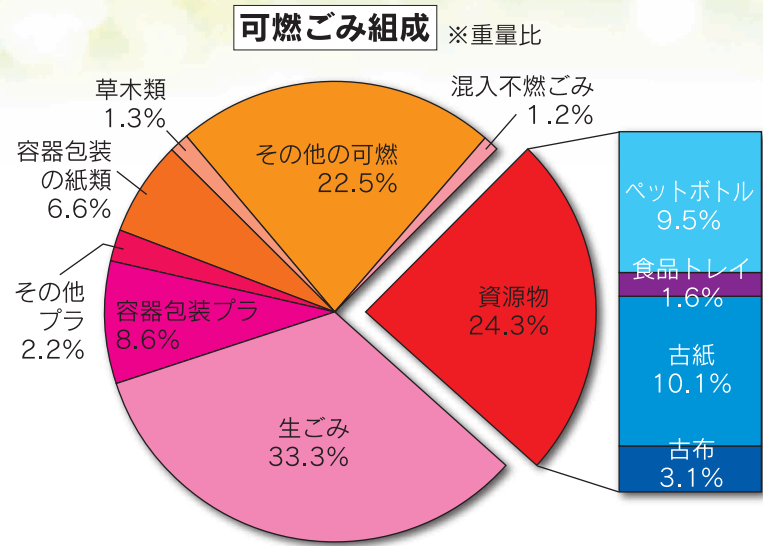
市では毎年1回、市内のごみ集積所を無作為に抽出し、家庭から出されているごみがどの程度分別されているかを調査し、今後の基礎資料を得ることを目的にごみ組成の分析を実施しています。平成29年11月に実施した調査結果は、下記のグラフのとおりです。

## ■リサイクル可能な「資源ごみ」が約3割も混じっています

平成29年度の調査では、「可燃ごみ」では全体の24.3%、「不燃ごみ」では全体の35.9%ものリサイクル可能な資源ごみが混入されているという結果となりました。

本市のリサイクル率は茨城県内44市町村中7位(平成27年度実績)と近年高い水準を維持していますが、いまだ多くのリサイクル可能なものが可燃ごみ・不燃ごみとして捨てられていることが分かります。

また、「不燃ごみ」では、混入可燃ごみが14.8%を占めており、主にプラスチック類の混入が見受けられました。加えて、収集車の火災の原因にもなるスプレー缶(グラフではリサイクル不可の缶類に該当)には、中身の残っているもの、穴の開いていないものがありました。市では、このようなルールを守られていないものがあつた場合には、ごみ袋に黄色の【回収できませんシール】を貼付し、分別や正しい排出方法の徹底を推進しています。皆さまのご協力をお願いします。



【回収できませんシール】

<p><b>次の理由により回収できません</b>  <small>*Garbage that has been put outside against the rules will not be collected.</small>  <small>ルール違反です！</small>  <small>出された方は持ち帰り正しい方法で処理しましょう</small></p>		月 日
<p><input type="checkbox"/> 可燃ごみが入っています</p> <p><input type="checkbox"/> 不燃ごみが入っています</p> <p><input type="checkbox"/> あきかん・あきびんが入っています</p> <p><input type="checkbox"/> 粗大ごみです</p> <p><input type="checkbox"/> 下妻市指定ごみ袋に入っていない</p> <p><input type="checkbox"/> 回収されないごみです( )</p> <p><input type="checkbox"/> 回収日が違います</p> <p><input type="checkbox"/> それ以外の為回収できません ( )</p>		時 分 項
<p>下妻市 生活環境課 ☎ 0296-43-2111</p>		

## 下妻中学校 校舎クロージングセレモニー 「つなぐ49年分のありがとう」

平成30年4月開校の下妻中学校校舎改築工事が順調に進み、開校後に旧校舎は撤去されるため、12月14日、同校第一体育館で「校舎クロージングセレモニー」が開催されました。

セレモニーでは、美術部員たちが校舎中庭に作成した「つなぐ49年分のありがとう」をテーマにした27m×19mの巨大アートの披露や旧校舎49年の歴史をたどるムービーの上映などがされ、旧校舎への感謝の気持ちを表しました。

生徒を代表して瀬出井香穂さん(3年)は「感謝を形にすることは難しいが、みんなの思い出の中に刻まれることで、形はなくなるが思い出になって残る。私たちが旧校舎の最後の生徒になるが、新校舎開校に向けて新たなスタートができるようにしたい」と話しました。



さよなら・ありがとう校舎ムービーを鑑賞する生徒たち



中庭に描かれた巨大アート

## 前河原地区の築堤護岸工事完了で工事見学会開催

平成27年9月の関東・東北豪雨で大規模な溢水が発生した前河原地区の築堤護岸工事が完了し、工事見学会が12月2日、前河原地先の鬼怒川左岸で開かれ、地域住民など約50人が参加しました。

今回の築堤護岸工事によって、北台川水門から下流の堤防総延長650.5mの区間に、洪水時の水位から50cmほど高くなった堤防が完成し、前河原地区の治水強化が図られました。

今後も、護岸工事などが行われ、平成33年完了予定の鬼怒川緊急プロジェクトは早期完成に向けて進められます。



新たな堤防の完成を喜ぶ参加者たち

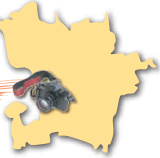


完成した前河原地区の堤防

有料広告欄

有料広告欄





# ジャビットとヴィーナスが来園

下妻保育園でダンス交流 12月5日

読売巨人軍の社会貢献活動の一環として、公式マスコット「ジャビット」と公式マスコットガール「ヴィーナス」が下妻保育園に来園し、ダンスなどで園児と交流しました。

参加した園児のうち、3～5歳児はポンポンを使いながらメロディーに乗ってダンスやゲームを楽しみ、3歳未満児はお兄さん、お姉さんを見ながら一緒に体を動かしていました。

園児たちに感想を聞くと、「踊りがかわいくて楽しかった」「もっと踊りたい」「ゲームが楽しかった」などと笑顔で答えてくれました。



ポンポンを使ってダンスをする園児



ヴィーナスと参加した園児

観光ボランティアガイド下妻いいとこ案内人の会が主催する「下妻街並みウォーキング」が開催されました。

雨の中、午前2回開催されたウォーキングには、市内外から37人が参加。Waiwaiドームしもつまからスタートし、上町・新町界限に今も残る昭和レトロの面影を探索しました。今回は、皇室関係者も宿泊した名邸「六芳園」の大広間で西崎幸樹舞踊研究所による日本舞踊が披露され、参加者を魅了しました。

街並みウォーキングが始まって以来、欠かさず参加している刀根啓子さん(下妻戊)は「ステキな踊りが観賞できたし、良い運動にもなった。雨だったが今回も参加してよかった」と笑顔でした。

# 昭和レトロの面影散歩

第7回下妻街並みウォーキング 11月23日



西崎幸樹舞踊研究所の日本舞踊に見入る参加者



あつあつの芋煮を待つ参加者

# あつあつの芋煮を楽しむ

わらべうた・あそびランド「芋煮会」 11月26日

親子で過ごす触れ合いの時間づくりのきっかけにと、わらべうた・あそびランドが、自然の中で遊んだ後に、大きく丸々と育った里芋が入った芋煮を食べる「芋煮会」を開催し、3歳～小学6年生の親子など約70人が参加しました。

イベントでは、子どもたちが芝生の上で相撲や綱引きをしたり、林の中で落ち葉のベッドに寝転んだりした後、あつあつの芋煮を親子で楽しんでいました。

浅野ころちゃん(5歳)は「みんなと遊んで楽しかった。やわらかいお芋がおいしかった」と感想を話してくれました。

# 交通事故をスタントマンが再現

スケアード・ストレイト交通安全教室 12月13日

交通事故の様子をスタントマンが実演し、事故の恐ろしさを体現することで、交通安全の意識づくりをすることを目的とした下妻地区安全運転管理者協議会主催の「スケアード・ストレイト交通安全教室」が下妻二高グラウンドで開催され、同校生徒や関係者など約900人が参加しました。

教室では、自転車に乗ったスタントマンが交差点で安全確認をせずに飛び出し、自動車にはねられる交通事故などの実演がされ、衝突音とともに参加者から事故の恐ろしさへの悲鳴が上っていました。

同校2年の海老澤諒人さんは「もしものことを考えるいい機会になった。しっかり安全確認をした」と話してくれました。



交通事故の再現をするスタントマン

LOVE TRAIN 常総実行委員会(常総線沿線4市および県西地域ネットワーク協議会)による婚活イベント「LOVE TRAIN 常総 in Waiwaiドーム」が開催されました。

独身男女の出会いの場の創設と地域活性化を図る目的で行われたこのイベントは、今年6回目を迎え、会場には38人が集まりました。

参加者は、同会場で自己紹介やフリースローゲームを楽しんだ後、ビアスパークしもつまに会場を移し、立食パーティーで会話を弾ませていました。

参加者からは、「楽しかった」「また参加したい」というような婚活に対して前向きな感想がありました。

# Waiwaiドームでわいわい婚活

LOVE TRAIN 常総を開催 11月26日



出会いに期待を寄せる参加者たち

# プロ野球選手から直に教わりレベルアップ

北海道日本ハムファイターズスポーツコミュニティin下妻市 12月9・10日



真剣な眼差しを向ける子どもたち

北海道日本ハムファイターズの選手たちが指導する「スポーツコミュニティin下妻」が「Waiwaiドームしもつま」で開催され、市内や近隣市から小中学生、指導者など約200人が参加。子どもたちは、元プロ野球選手の指導に、少しでも学び取ろうと真剣な眼差しでした。このイベントは、ファイターズがスポーツを通じた県西県南地域活性化事業の一環として、筑波大学発ベンチャー企業と連携し大学のスポーツに関する知識を活用し、下妻市など近隣市町の地域資源を活かすことを目的に開催。教室後のジンギスカンパーティーでは、北海道の老舗ジンギスカン店の協力とJA常総ひかりから提供された野菜により、北海道と茨城の食の共演も実現されていました。

# 吉川プロらが初心者に楽しさを伝える

スケートボード体験スクール開催 12月2日



基本を教わる子どもたち

12月2日、「Waiwaiドームしもつま」のスケートボードパーク「B.E. step125 -shimotsuma-」において市スケートボード組織準備委員会による「スケートボード体験スクール」が開催され、5～44歳の初心者18人が参加してスケートボードを体験していました。

体験スクールでは、吉川楓プロ(若柳)など5人が講師となり参加者のレベルに合わせて、乗り方から基本的な技などを教えていました。

参加者の母親の30代女性は「子どもがスケートボードに興味を持ち、始めてみたが教えることができなくて困っていた。もっと初心者向けの体験スクールを開催してほしい」と話してくれました。

スクール終盤には、参加者たちがパーク内を1人で楽しむ姿も見られました。



# わがやの にんきもの

このコーナーでは、市内在住の1〜3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【秘書課・広報広聴係 ☎43-2112】までご連絡ください。



ゆいか ゆうと  
**外山 結香・悠斗**ちゃん

一也・貴子さんの長女・長男 下妻丁

結香は、最近お話が上手になり、文章で話せるようになってきました。

悠斗は、ハイハイやつかまり立ちができるようになりました。

1月生まれの2人が1月号で紹介されるので、良い記念になります。2人とも、元気で明るく育ってね!



**中山 ゆき**ちゃん

寛之・佐織さんの長女 下妻丁

いつも元気なゆきちゃんは、「あっち!あっち!」と「カンパーイ」を言うことと、散歩が大好きで、階段を見つくと登り降りを繰り返しています。

そこにいるみんなを幸せにしてくれます。このまま元気に大きくなってくれることを願っています。



ひより  
**飯塚 日陽里**ちゃん

仁・香織さんの長女 柳原

お兄ちゃんの動きや、おしゃべりのマネをするのが大好きで、何でも自分でやりたがる活発な日陽里。ケンカもたくさんするけれど、妹の面倒をよく見てくれるしっかりものの元陽。

そんな二人が「わがやのにんきもの」です。これからも仲良し兄妹でいてね。

# みんなのギャラリー

## もみの木保育園

### かわいいだるまいぬ



▲ばら組の皆さん



新しい年がスタートしました。今年はいぬ年。みんなでだるまの着ぐるみを着たいぬをはさみやのりを上手に使って作りました。十二支の動物たちのように、個性豊かな子どもたち。今年は、それぞれのような成長をみせてくれるのが楽しみです。

## 口頭詩



子どもの純粋な心のつぶやき

**こくぼ さき**  
4歳11カ月時点  
(高道祖幼稚園)

まがりみちが いいなあ  
かみのけ  
さきも ママみたいに  
ねえ ママ  
まがりみち

【解説】  
朝、髪の毛を結ぼうとしたときに、自分の前髪を触りながら言った言葉です。斜めに分けた前髪をまがりみちと表現したのがかわいくて、思わず笑ってしまいました。  
採集 母 小久保加代子

## 市民文芸

俳句

年の瀬の尖がるわれに花の笑み  
ネクタイをはづして作務衣十二月  
はなれゆく水尾引きながら二羽の鴨

中久喜洋美(下木戸)  
小竹 善文(五箇)  
塚田三樹子(下妻丁)

短歌

いつの日に挿し木したるや白菊に  
花が一輪ほんのり咲けり  
ほろほろと茶の花咲ける垣根越しに  
親しく話す妣の声す  
垣根越え皇帝グリア咲きのぼり  
共に仰げる秋空まぶし

木村 りん(下妻乙)  
関 千代子(下妻乙)  
小竹八重子(五箇)

## わたしからあなたへ さわやかに vol.144

前回登場の横倉有沙さんからの紹介



**柴崎 有佳里**さん(柳原)

### 「リア充」

私は市内に住む、転職したての25歳です。転職をして1番感じたことが、『週末を楽しめる』ということ。今までは休暇も不規則で、友人と出掛けたり、仕事終わりに飲みに行ったりすることが難しく、休日も一日中寝て終わる、さえない毎日でした。

そしてより一層、仕事を頑張ろうと思えるようになりました。人は楽しみがあるからこそ、頑張れるのだと私は思います。今の私は、週末を全力で楽しむ『週末ヒロイン』。これは、友人との合言葉でもあります。

今は、カレンダー通りの休暇になり、予定が立てやすく、私生活も充実し、新しいつながりもたくさんできました。

こんな私と週末を楽しんでくれる仲間がたくさんできて、とても幸せです。これからも充実した私生活を送れるよう、仕事を頑張っていこうと思います。

有料広告欄

有料広告欄



相談ごと

◆行政相談

時 2月9日(金) 午後1時30分～3時30分  
 所 千代川公民館 1階 小会議室  
 時 2月23日(金) 午後1時30分～3時30分  
 所 下妻公民館 1階 和室  
 問 秘書課 ☎43-2112 FAX 43-1960

◆人権相談

時 2月23日(金) 午後1時30分～3時30分  
 所 下妻公民館 2階 小会議室  
 問 福祉課 人権推進室  
 ☎43-8246 FAX 43-6750

◆こころの健康相談

時 2月7日(水) 午後1時～4時(予約制)  
 所 市役所第二庁舎 3階 小会議室  
 問 福祉課 ☎43-8352 FAX 43-6750

◆消費生活相談

時 月・火・木・金曜日(毎週)  
 午前9時～正午 午後1時～4時30分  
 日曜日(2月25日) 午前9時～正午  
 所 下妻市消費生活センター(千代川庁舎内)  
 問 下妻市消費生活センター  
 ☎44-8632 FAX 44-9370

◆納税相談

・夜間納税相談  
 時 2月1日(木) 午後5時30分～7時30分  
 ・休日納税相談  
 時 2月25日(日) 午前8時30分～午後5時  
 所 市役所本庁舎 1階 収納課  
 問 収納課 ☎43-8274 FAX 44-9411

◆法律相談

時 2月13日(火)・20日(火)・27日(火)  
 午後1時30分～3時30分 ※事前予約必要(当日不可)  
 所 下妻公民館 2階 学習室  
 問 下妻市社会福祉協議会  
 ☎44-0142 FAX 44-0559

人口と世帯 1月1日現在の常住人口 ( )=前月比

人口	42,794人	(+18)
男	21,459人	(+35)
女	21,335人	(-17)
世帯数	15,542世帯	(+41)

☎ テレホンサービス

◆火災・災害のとき ☎0296-44-3111  
 ◆市役所などの行事・催物 ☎0296-43-4000

f 下妻市公式Facebookページ



健康カレンダー Health Calendar 2月1日～2月28日

問 保健センター ☎43-1990 FAX 44-9744		
2/1 木	すくすく相談(予約制) 13:30～	小西
2 金	ぴよぴよ教室 10:00～10:30	小赤
	5 か月児健診(平29.8月生) 13:15～13:30	
3 土		夜 小西
4 日	在 古橋医院 ☎44-2792	夜 小西
5 月		小西
6 火	元気アップ教室 9:15～10:00	小西
7 水	パクパク離乳食教室(予約制) 10:00～10:15	小西
8 木	しもつまウォーク 9:30～10:00 砂沼サンビーチ玄関前	小西
9 金		小赤
10 土		夜 小西
11 日	在 とやまクリニック ☎30-5010	夜 小赤
12 月	在 三津山クリニック ☎48-9131	夜 小西
13 火		小古
14 水	ママサロン 13:30～15:30	小西
15 木	1歳6か月児健診(平28.7月生) 13:15～13:30	小西
16 金	3歳児健診(平26.11月生) 13:15～13:30	小赤
17 土		夜 小西
18 日	在 中岫産婦人科医院 ☎44-2438	夜 小友
19 月		小西
20 火	2歳児歯科健診(平27.12月生) 13:15～13:30	小西
21 水		小西
22 木	すくすく相談(予約制) 13:30～	小西
23 金		小赤
24 土		夜 小西
25 日	在 平間病院 ☎43-5100	夜 小西
26 月		小西
27 火		小西
28 水		小西

※場所の記載がないもの=下妻保健センター

在 休日在宅当番医 午前9時30分～午後4時

夜 夜間応急診療所 下妻保健センター内 ☎43-1990  
 土・日・祝日(1月1日を除く): 午後7時～翌朝7時

小 小児救急当番医  
 月・火・水・木・金・土曜日: 午後6時～午後11時  
 日曜・祝日: 午前9時～午後4時

小児輪番病院は、入院治療を必要とする子供の救急医療を行っています。受診される際は、医療機関に必ず事前に電話でご相談ください。  
 ・西…茨城西南医療センター病院(境町2190) ☎0280-87-8111  
 ・友…友愛記念病院(古河市東牛谷707) ☎0280-97-3000  
 ・赤…古河赤十字病院(古河市下山町1150) ☎0280-23-7111  
 ・古…古河病院(古河市鴻巣1555) ☎0280-47-1010

茨城子ども救急電話相談  
 毎日の夜間…午後6時30分～翌朝8時  
 休日の昼間…午前8時～翌朝8時

休日=日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)  
 プッシュ回線の固定電話、携帯電話からは、局番なしの#8000  
 その他の電話からは☎029-254-9900

茨城県緊急医療情報コントロールセンター  
 休日や夜間に救急対応している 年中無休/24時間  
 小児科医療機関をお探しのとき ☎029-241-4199

# 広告募集

- 広報しもつま
  - 窓口用封筒
  - 市ホームページ
- に掲載する広告を募集します

市では、地域産業の振興を図るとともに、広告掲載料による自主財源の確保を目的として、「下妻市広告掲載取扱に関する要綱」を定め、広報しもつまや市ホームページなどに広告を掲載する事業者などを募集しています。

募集内容(下図参照)

- 「広報しもつま」は、原則として毎月10日に発行しています。オールカラーで13,700部作成し、市内のご家庭に各戸配布しているほか、市の施設や駅、ショッピングセンターなどにも置いています。各ページの最下段に広告枠を設けています。
- 「窓口用封筒」は、市民課などの窓口で使用している封筒の裏面に、広告枠を設け、今後使用が見込まれる20,000枚から印刷します。広告枠は3枠で受け付け順とします。
- 「市ホームページ」への広告掲載は「バナー広告」とし、掲載位置はトップ画面の中で市が指定した位置となります。

広告の位置、規格および掲載料

種類	位置	規格	回数又は月数	掲載料
1 広報しもつま	最下段(表紙および最終面を除く)	通し枠 (42mm×178mm)	1回	15,000円
			連続3回	43,000円
			連続6回	80,000円
			連続12回	150,000円
2 窓口用封筒(1枠)	封筒裏面に印刷	60mm×85mm	1回	8,000円
			連続3回	23,000円
			連続6回	42,000円
			連続12回	80,000円
3 市ホームページ	広告の掲載位置は、市ホームページのトップ画面で、市の指定する位置とする。表示方法は、「バナー広告」とする。			掲載した封筒の使用完了まで配布 20,000枚×@4.0円から受付
	規格(1枠)	縦43ピクセル、横138ピクセル、 8KB以内、GIF形式(アニメーション可) またはJPEG形式	1月	15,000円
			連続3月	43,000円
			連続6月	80,000円
			連続12月	150,000円

申込資格

住所または事業所を有する市町村の市町村税を滞納していないもの。  
 ※「下妻市広告掲載の取扱いに関する要綱第3条」に定められた広告(公の秩序又は善良の風俗に反するおそれのあるものなど)は掲載できません

申込締切

平成30年2月9日(金)まで

申込方法

広告掲載申込書に、下記の添付書類を添えて、お申し込みください。  
 ○添付書類  
 ・広告原稿(案)  
 ・住所または事業所を有する市町村の市町村税の滞納がないことを証する書類(市内に住所または事業所を有する場合を除く)  
 ※広告掲載申込書は、市役所秘書課(本庁舎2階)に用意してあります。また、市ホームページからダウンロードできます

申し込み・問い合わせ 秘書課 ☎43-2112  
 FAX 43-1960



市ホームページ 有料広告掲載

有料広告欄